カンパ米二十五俵

京の上同志へ支援の手

昨年近江絹糸の炭鉱版として騒がれ、第一組合と第二組合に分裂したまま血みどろな闘いをつづけた京の上労組は、炭労傘下各組合の強力な支援で要求をかちとつたことはまだ記憶に新たなことである。今年の春闘には中小ブロツクの戦列に加わつて闘つたが、各組合妥結後も未だ無期限長期ストをもつて果敢に、そして苦しい闘いをつづけている。

今年の賃上げの特徴は中小炭鉱ではここ数年、据たげられていた時期もひどかつたため、賃上げ額も大手プラスアルファーとして、好況を機会につぎつぎと妥結しているのが大きな特徴である。

ところがここ京の上では第二組合（全炭鉱加盟）が早くも大手以下で妥結、会社では早速この第二組合妥結の額で賃上げを行うことを決定した。第一組合ではこれは不当でありあくまでも要求額を掲げて闘う方針を堅持、以降春から今日まで無期限長期ストの苦闘をつづけている。なお第一組合と第二組合は新、旧坑に別れて現場は道うという特殊なところでもある。

九州中小Aブロツクでは、この京の上労組に対して同情ストをもつて共闘も行つてきたが、未だに解決の曙光さえみえないありさまである。

第十七回の炭労定期大会でもこの京の上闘争は炭労全山の闘いだとこんご強力な闘争支援に立上ることを決定している。主婦会ではこの苦しい闘いをつづける同志にさしあたつて米のカンパで支援しようと運動に立上り、本部に二十九三十の両日集収されたが、ここに二十五俵が集められた。

早速六月一日、このカンパ米を積んだカンパトラツクは救援部、主婦会役員など七名が同乗して現地へ向つて発送された。

續々と集まる救援米（本部で）

救援カンパ米

五月末京ノ上炭鉱えの救援カンパとして米一合出して下さいとの班長さんの言葉に私は意外に思いました。昨年十月末、評議員会で決定された一円カンパは納得できましたが、このたびのカンパ米一合ということは考へさせられました。勿論、評議員会や分会長会議の決定とは思いますものの、今次のカンパ米において問題は今後に残るものと思います。

又、京ノ上えの最後的なものとも思われません。

なお私達には京ノ上の皆さんがその後如何にして居られるかも解りかねております。

同志を救けると云う事に於て、救援米を出す事に反対は致しませんが、一合と決定された事に問題は残ります。カンパをする身の私達ですから受ける身より良い様なものですが、私達の周囲にはまだまだ苦しい生活に泣いている人が少くありません。夫を、子供を、永い病床にとられ、又傷ついていられる事を思う時一握りのカンパが一合となつたいま、足もとの会員をその中から一人づつでも救う事が大切な事ではないでしようか一握りカンパは一握りカンパで良かつたのではないでしようか。それでも心ある人は一握りは一合とも二合ともなるでしよう。少しでも多く出して救援する事は良い事でしようが、多く出すと云う事の前に先づ足もとを見つめて頂きたいものです

又、カンパの事前にその時、その時の事情を会員の末端に至るまで詳しく情宣して下さい。

今度は救い方ないとしても会議に加わられる役員の方は最低の生活をしている者の事も考へられ、天下り的な事でなく、先づ足もとを見つめて事に処して頂きたいと要望いたします。

臼井一主婦

音楽で繰込場慰問

拍手とメロデーで賑う

三川支部では教宣部の主催で、去る二十五日、支部楽団〝三川コールマイン〟を呼んで繰込場で慰安の一日を催して喝さいを浴びた。この日支部楽団では三鉱労組の新組合歌〝炭掘る仲間〟を普及徹底させる目的もかねて行われたもので、午前五時三十分のまだ外は暗い夜明け前から繰込場に入り、一番方繰込から夜の十時四十分三番方繰込まで歌謡曲を交えた音楽の贈りもので組合員を慰安した。

「君はマドロス海つばめ」「東京の人よさようなら」「娘巡礼」「波止場だよお父つあん」など十数曲を演奏、これも同じく楽団直属の歌手四名（女三、男一）がつぎつぎに立つて歌えば、歌い終るごとに激しい拍手が湧き、いつもの殺風景なヤマの繰込場の雰囲気をこの日ばかりはがらりと変えて、終日賑やかな音楽と拍手につつまれた。

なお、昼休みは常一番への慰問も行うなどの大車輪で、とくに安全灯の池田さんも得意のノドをならして「俺ら炭鉱夫」を披露する飛入りもあり大いに賑つた。

またこの日、繰込場慰問の余暇をみて白川、銀水園などへの組合員慰問も行われることになつていたが、雨のため中止になり、後日へ延期された。

この日の楽団は総勢十二名、楽器もヴアイオリン、ギター、アルトサツクス、トロンボンなど十種類を揃える十三個が揃えられていて明日への活動の源泉をかもし出してくれた。組合員の中には、つぎつぎと演奏されぬ音楽に繰込を残念そうに名残りを惜しみながら繰込む姿もみられるほどであつた。

結成へ踏切る

四山福外三の主婦

四山支部福外三分会では去る二十六日（日）家族同伴で佐賀龍徳温泉へとバス仕切りで行楽のレクレーションを行つた。今回の行楽には主婦会員も多数参加した。とくにこの分会にはまだ外来主婦分会の結成が行われていないというありさまで、外来特有の悪条件が重りあつて今日まで結成の気運がありながら実現していなかつたもの。

この日、主婦の多数の参加もありこの機会をのがしてはまた延び延びになる心配もあり、この日を利用して外三分会結成準備を行つた結成への決定が満場一致できまり近いうちに正式結成が行われることになつた。

（写真は福外三の楽しい旅行）

常任委のポスト決る

総務委員長に松本氏

市議会では常任委員二年交替の時期に直面し、各委員会のポスト下馨えが大きな注目を集めていたが、最終的話合いが去る三十一日徹宵で行われ、五日午時四時ごろ各派の割ふりも決り、最終的決定をみた。三鉱政治局関係の委員長、委員はつぎのとおりとなつた。

○総務委員会＝委員長松本勇、委員遠尾信次郎、川畑昭二郎

○教育民政委員会＝副委員長広沢修功、委員石橋進、小宮生計

○経済委員会＝なし

○建設委員会＝副委員長中川末義　委員月足康則

就任に際して

主婦会会長　河野廣子

親愛なる会員の皆様に紙上をもつて一言ご挨拶申上げます。

不肖、私が今期三池主婦会の会長という重責を負つて就任いたしましたが、役員としての任期も浅く、また浅学非才の身としてとても皆様のご期待に副うべくもございませんが、一旦お受けいたしました以上は一意専心、組織の先頭に立ち努力いたしたいと存じます。皆様方の格別のご指導とご鞭達とをお願い申上げる次第でございます。

猛烈な会社反対の中を押しきり結成された私達の主婦会、そして組合とともに闘争に明け暮れ、私達の良人や子供の首を守り得たあの日の感激、四年の歳月の中には血と涙の尊い同志愛の歴史が息づいています。私達が一歩々々築いてきた主婦会はいまや名実ともに世人のひとしく認めるところとなりました。愛する三池主婦会をいかに肉づけ太らせて行くか、新たな勇気と燃が胸をつき上げてまいります。なおまた今日の社会情勢を考えますに、汚職県政、佐藤組の先生方に対する不当弾圧、国鉄労組の責任者処分、不明朗な管生事件など一つとして心許せるものがありません。

主婦といえどもつねに政治の在り方を見守り、私達の固い団結の力で働く者の幸福をかちとるためにますます組合との提携を深めてお互いの理解と協力の中で、明るい明日への建設の道を進みたいと存じます。

移動図書館ができます

一昨年から革新クラブが実現に努力してきたブツクモデル（移動図書館）が皆さんの好みの書物を満載して各町内毎に廻つてくるようになりました。これは革新議員団が、市民の文化昂揚の一つとして掲げて来たスローガンの一つでもあります。現在築町に中央図書館がありますが、これでは市の中央の一部の利用にしかならないので不公平でもあり、民主的な文化施設とはいえないのです。そこで今回の市議会で百六十万円計上して、市民の要望に応えることになつたのです。ブツクモデルは自動車の両側を開閉できるようになつて、中の書棚が外から見えるように取付けてあり、夜間は電灯の設備で書物の選択ができるようになつています。町内を日割で決められるので、割当の日にはマイクで呼びかけながら皆様えの書物を運んできます。なお、貸出規定や日割などについては今後市の方で研究して、出来たら市の会報などで一般に通知されることになります。

×　×

大谷で運動会

大谷地域分会では恒例の山神祭を去る十九日行つた。子供ミコシなど繰出し地域あげての賑いを呈したが、正午すぎからは大谷グラウンドで大運動会を催した。

呼びもの大谷東、中、西地区対抗リレーや年令別、学童、一般リレーが人気をかつさらい、頑ざ立つような声援に応えて熱走した。優勝は大谷中が総合点数九点をしめ連続優勝をかちとり大いに気を吐いた。

見舞金について

私はこのところ私傷で半年以上も欠勤していますが、聞くところによると半年以上休んだときには組合から見舞金がくるとのことですが、本当でしようか。

（港務　私傷生）

【お答え】

貴方の質問の通り、組合では共済規程第七条で「組合員傷病のため引つづき六カ月以上欠勤したときは六カ月ごとに傷病見舞金五百円をおくる」ときめられていますので、当然見舞金がもらえます。係の方え請求して下さい。

危い〝水遊び〟

武本深さん人命救助

五月二十三日午後四時ごろ、勝立鳳渡社宅防火用水で船遊びをしていた地域分会長黒川広さんの長男孝一君（四年生）が用水槽に落ちこんで溺れているのを、通りかかつた、武本深さん（宮浦支部機械工四十二才）が着物のまま飛び込んで助け上げ、人工呼吸を行い水死寸前の尊い一命を救つた。

武本さんのこの行為は、地域分会員や主婦から賞讃されている。なお、夏を迎えて子供の遊び場所や施設をとの声が高まつている。

さらに失対施策を推進

県下の失業者は約七万人（職業安定課調、本年二月現在）といわれるが、その他の潜在失業者とともに、これらの失業者をどう救済し解消して行くかということは、県政の急務となつている。

産業界の好況により最近では幾分その数を減じてきたとはいえ、まだまだ巷間には職を求めて明日なき生活に苦しんでいる人は少くない。

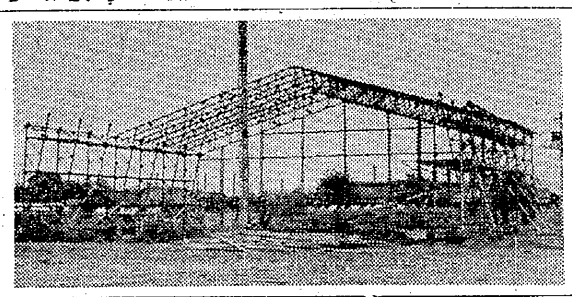
このため社会党県議団としては土屋知事に対し、積極的失業解消の諸施策の実施を要求し続けているが、われわれの主張を心から聞き入れようとはしない。

このような中で、本年度では失業対策費七億一千三百万円をようやく予算計上し、道路整備や河川工事などの失対事業を起すほか、技能を習得させるため、職業補導に努め、就職の機会を与えるなど、本年も引続いて失業対策の施策を推進することになつている。

大牟田博会場の建設進む

大牟田博の石炭科学館は、鉄骨組立もほぼ終り、工事の約三割が終つた。同館は博覧会終了後は体育館となるが、経費は三井鉱業所三千二百万円、市当局千二百五十万円、県五百万円、計四千九百五十万円をそれぞれ負担し建設する。また、市の婦人連合会では〝婦人と生活館〟の設置方を要望し、これは博覧会終了後、郷土館に含まれることになつた。

以上二館は個人施設として保存されるもので、他都市の博覧会にも例がない。（写真は石炭館の建設）



こどもページ

ほたる

ほたるがすいすいとびあるきせつになりました。きようはほたるについてしらべてみましよう。

ほたるといえばゲンジホタル、ヘイケホタルがよく知られていますゲンジホタルはたてにくろいおびのようなしまがあります。日本にはこのほか九しゆうにヒメボタルつしまにトウキチボタルなどがいます。おきなわなどには、いろとりどりのほたるもいるそうです。

ほたるのひかりは、尾にちかいふしから発することは知つていますね。このひかりは、ぼくはここにいますよ、わたくしはここにいますよと知らせあうしんごうのようなもので、五月のすえから六月にかけて、さかんにとびかうのはさんらんきだからです。

ほたるのようちゆうは、ぬまや河原（かわら）で大きくなりますどろ水の中にすむみやいり貝という貝をたべるところから、えき虫になつています。

＝どうわ＝　オオカミと子ヒツジ

どうぶつの国のけんじさまになつたオオカミは、よわいどうぶつをみたら、なにかもつともらしい理くつをつけて、たべてしまおうとおもつていました。

ある日のこと、オオカミは川で水をのんでいる子ヒツジをみつけさつそくいいがかりをつけました

「おいこら、子ヒツジめ。お前がそうして川の水をにごらせるものだから、おれさまはのめなくて大よわりだ」

正直ものの子ヒツジは、そこでいいました。

「けんじのオオカミさま、それはちがいます。わたくしは、このとおり川下のほうにいますから、いくらなんでもあなたさまのいる川上の水を、にごらせるはずはありません」

子ヒツジのいうことは、もつともでしたから、オオカミは、じだんだふんでくやしがりました。そのつぎのいいがかりを、考えだしていいました。

「しかし、ゆるせないぞ、子ヒツジめ。お前は去年、おれのおやじのわるくちをいつておるではないか。さあ、どうだ」

子ヒツジは、たいそうかなしそうなかおをしていいました。

「わたくしは、けつしていいません」

オオカミは、にやりとわらつてつづけました。

「おれさまは、えらいけんじだからな、ちやんとしようこをにぎつているぞ」

「ところがです、けんじのオオカミさま。そのころは、わたくしはまだ生れていなかつたのです」

「な、なんだと。つべこべと」

オオカミはじぶんのでたらめを天じようにあげて、まつかになつてどなりました。

「いくら、お前がうまくいいのがれしても、おれさまはやつぱりお前をくつてしまうことにする」

そこで、オオカミはとうとうあくまの正体をあらわしてしまいました。